

事業報告書

3 事業報告書

事業報告書

令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

区分	項目	引 受 (加 入)							達成率	前年度対比
		計 画			実 績					
		引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額	引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額			
農作物	水 稻	ha	円	千円	ha	円	千円	%	%	
	麦	34,867	183	25,698,980	36,332	183	27,253,863	106.1	91.4	
	計	1,248		263,844	1,208		313,661	118.9	114.5	
果樹	りんご	a			a					
	なし	1,596		48,264	1,205		31,610	65.5	67.0	
	計	2,473		101,979	2,003		86,184	84.5	80.2	
畑作物	大 豆	ha	円		ha					
	ばれいしょ	5,048	218	1,641,239	5,066	221	1,700,639	103.6	95.8	
	そ ば	19	43	17,856	26	43	22,217	124.4	145.0	
	蚕 繭	箱	158	1,118	97	143	3,237	289.5	259.6	
	計	16.80	2,510	1,313	18.15	2,510	1,275	97.1	99.2	
	園芸施設	棟			棟					
		19,002		11,029,704	18,516		11,330,919	102.7	97.7	
任意	建 物	棟	千円		棟	千円				
	農機具	104,932	11,819	1,240,190,050	103,899	11,782	1,224,136,210	98.7	97.3	
	保管中農産物補償	台			台					
	計	36,203	2,728	98,752,160	36,463	2,787	101,625,320	102.9	103.7	
		口			口					
		121	1,000	121,000	109	1,000	109,000	90.1	86.5	
	計			1,339,063,210			1,325,870,530	99.0	97.8	

(備考) 麦、果樹：引受は令和6年産

端数処理の関係で、計と積上げは必ずしも一致しない（以降同じ）。

区分 項目		被害又は事故				
		本年度		前年度		比較
		被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
農作物	水稲	kg 153,881	円 26,222,205	kg 1,185,907	円 207,326,227	% 12.6
	麦		19,295,738		26,781,650	72.0
	計		45,517,943		234,107,877	19.4
果樹	りんご	kg 37,592	3,241,500	kg 4,477	231,930	1,397.6
	なし	83,532	9,377,150	12,270	1,026,920	913.1
	計	121,124	12,618,650	16,747	1,258,850	1,002.4
畑作物	大豆	kg 1,173,404	273,237,912	kg 57,157	10,625,250	2,571.6
	ばれいしょ	247,736	10,652,648	59,886	2,515,212	423.5
	そば	403	63,674	1,955	344,080	18.5
	蚕繭	0	0	42	102,900	0.0
	計		283,954,234		13,587,442	2,089.8
園芸施設		棟 1,713	76,020,066	棟 661	54,890,809	138.5
任意	建物	棟 755	703,911,179	棟 6,469	4,263,494,395	16.5
	農機具	台 476	95,044,695	台 486	87,006,126	109.2
	保管中農産物補償	kg 0	0	kg 0	0	—
	計		798,955,874		4,350,500,521	18.4

(備考) 麦、果樹：本年度は令和5年産、畑作物：前年度は令和3年産、本年度は令和4年産
水稲：前年度は令和3年産（41,738,652円）と令和4年産（165,587,575円）の合計額

区分	項目	引 受 (加 入)								
		計 画			実 績			達成率	前年度対比	
		引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額	引 受 (加入) 数	単位当 共済金額	共済金額			
頭	千円	千円	頭	千円	千円	%	%			
家畜	死亡 廃用 共済	乳用牛	18,858	198	3,730,995	17,791	196	3,484,599	93.4	74.4
		肉用牛	114,296	462	52,759,132	114,970	466	53,586,236	101.6	97.1
		一般馬	4	1,058	4,232	3	1,047	3,142	74.2	109.9
		種 豚	1,687	83	140,144	1,905	58	110,882	79.1	85.6
		肉 豚	12,769	11	140,459	13,909	9	122,399	87.1	85.8
		種雄牛	13	569	7,400	10	450	4,498	60.8	67.5
		計	147,627	385	56,782,362	148,588	386	57,311,755	100.9	95.3
	疾病 傷害 共済	乳用牛	13,693	47	645,551	13,004	38	499,700	77.4	212.8
		肉用牛	47,166	28	1,296,991	47,847	27	1,291,382	99.6	190.6
		一般馬	4	20	78	2	22	45	57.6	52.3
		種 豚	29	5	137	30	5	149	108.5	114.4
		種雄牛	13	37	475	10	39	392	82.6	97.6
		計	60,905	32	1,943,232	60,893	29	1,791,668	92.2	196.2
	計	208,532	282	58,725,594	209,481	282	59,103,423	100.6	96.8	
合 計			1,436,593,101			1,425,717,558	99.2	97.6		

項目 区分		被害又は事故					
		本年度		前年度		比較	
		被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金		
家畜	死亡 廃用 共済	頭	円	頭	円	%	
		乳用牛	1,320	191,004,228	1,370	215,400,942	88.7
		肉用牛	3,559	613,986,238	3,474	637,486,732	96.3
		一般馬	1	1,652,800	0	0	—
		種豚	1	33,600	0	0	—
		肉豚	0	0	11	57,657	0.0
		種雄牛	0	0	2	998,400	0.0
	計	4,881	806,676,866	4,857	853,943,731	94.5	
	疾病 傷害 共済	件	件				
		乳用牛	8,798	139,613,219	9,251	153,212,935	91.1
		肉用牛	33,480	425,131,938	34,266	427,235,993	99.5
		一般馬	0	0	0	0	—
		種豚	2	15,219	2	13,185	115.4
		種雄牛	3	59,301	7	112,972	52.5
計	42,283	564,819,677	43,526	580,575,085	97.3		
計		1,371,496,543		1,434,518,816	95.6		
合	計		2,588,563,310		6,088,864,315	42.5	

(1) 農作物共済関係
(引受)

年産	共済目的		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額
令和5年産	水 稲	半相殺	23,920	3,573,846	145,962,528	26,787,359,213
		全相殺	321	55,009	2,443,460	424,024,628
		地域インデックス	12	4,342	212,633	42,478,951
		計	24,253	3,633,196	148,618,621	27,253,862,792
令和6年産	麦	半相殺	0	0	0	0
		災害収入共済方式	89	120,826		313,661,331
		計	89	120,826	0	313,661,331
計		延	24,342	3,754,022	148,618,621	27,567,524,123
		実	22,304			
令和5年産	麦	計	97	130,221		273,944,942

年産	共済目的		徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
令和5年産	水 稲	半相殺			
		全相殺			
		地域インデックス			
		計	196,112,285	△ 114,609,017	81,503,268
令和6年産	麦	半相殺			
		災害収入共済方式			
		計	7,704,238	1,048,227	8,752,465
計			203,816,523	△ 113,560,790	90,255,733
令和5年産	麦	計	6,663,043	898,317	7,561,360

水稲作付面積(子実用)は、前年産に比べ100ha増加したほか主食用作付面積は前年産に比べ200ha増加した。

収入保険への移行もあり、引受面積は主食用米で2,787ha減、飼料用米は738ha減、米粉用米で42ha減少し合計で前年度に対し3,567haの減少となった。統計作付面積に対する面積引受率は59.7%となった。令和6年産麦の引受面積は、収入保険への移行もあり前年度に対し94haの減少となった。令和5年産の統計作付面積に対する面積引受率は46.1%となった。

(被害)

共済目的		被害組合員数	共済金	共済金／共済金額	
水 稲	令和5年産	人	円	%	
		半相殺	183	24,674,733	0.09
		全相殺	5	1,547,472	0.36
		地域インデックス	0	0	0.00
	計	188	26,222,205	0.10	
麦	令和5年産	半相殺	0	0	0.00
		災害収入共済方式	34	19,295,738	7.04
		計	34	19,295,738	7.04
計		延 222	45,517,943	0.17	

(水稲)

令和5年産水稲は、田植終期以降の5月下旬から7月下旬までの気温が平年並みからやや高く、日照時間についても多照であったため生育は順調に進んだ。

梅雨入りは6月11日（平年より1日早い）、梅雨明けは7月22日（平年より2日早い）となった。

出穂前後の状況は、7月が高温・多照で経過したことから、出穂は早く、県平均の出穂始期は7月26日（平年より3日早い）、出穂盛期7月30日（平年より3日早い）、穂揃期8月5日（平年より5日早い）となった。

刈取始期は9月16日（平年より3日早い）、刈取盛期9月24日（平年より6日早い）、刈取終期10月7日（平年より7日早い）となった。宮城県の作柄は10a当たり収量537kg（作況指数105）となった。

被害状況は、出穂後の強雨による倒伏や6月上旬から9月上旬にかけての高温・多照・少雨の影響で一部の圃場で干害による生育障害が発生、また山間部を中心にイノシシによる獣害が発生し減収した。

(麦)

令和5年産麦の生育概況は、播種時期は降雨も少なく播種作業及び出芽は順調で、初期生育は確保された。1月から2月は降水量及び日照時間ともに平年並みに推移し、おおむね平年を上回る生育となった。

3月以降収穫期まで高温で推移し、多くの圃場で茎数が増加傾向になったが、一部圃場では穂数過剰となり倒伏が発生し品質低下が見受けられた。また、3月下旬のまとまった降雨により、一部圃場で土壌湿潤害により生育が阻害された。4月には低温によりシラネコムギで凍霜害（不稔）が発生した圃場も見受けられた。さらに梅雨入り後の6月中旬以降、降雨等の影響で刈取りが遅れた圃場において、品質の低下が見受けられた。

宮城県の作柄は、大麦10a当たり収量366kg（前年対比108%）、小麦10a当たり収量432kg（同110%）となった。

(支払)

共済目的		支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金／共済金	
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他		
水 稲	令和5年産	令和5年 12.13	円	円	円	円	円	円	%	
			半相殺	24,674,733						
			全相殺	1,547,472						
			地域インデックス	0						
	計		26,222,205	0				100		
麦	令和5年産	令和5年 12.25	0							
			半相殺	0						
			災害収入共済方式	19,295,738						
	計		19,295,738	0				100		
計			45,517,943	0	45,517,943	0	0	0	100	

(損害防止)

地域での一斉防除（種もみの温湯消毒、無人ヘリコプター等によるカメムシ防除等）の推進と農作物病害虫適期防除推進圃調査を実施し、防除協議会等関係機関と連携して病害虫防除の適期、適正防除を推進した。

(2) 家畜共済関係

(引受)

区分		項目	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受 頭数	引受頭数/事 業計画頭数	共済金額
死亡 廃用 共済	乳用牛	搾乳牛	頭 15,095	頭 12,612	頭 12,264	% 97.2	円 2,545,702,450
		育成乳牛 (子牛等)	7,931	(570)	(509)	88.5 89.3	938,896,300 (28,842,550)
		計	23,026	18,858	17,791	94.3	3,484,598,750
		繁殖用雌牛	26,878	23,636	23,471	99.3	8,902,947,502
	肉用牛	育成・肥育牛 (子牛等)	97,935	(9,194)	(8,674)	100.9 94.3	44,683,288,752 (1,082,658,174)
		計	124,813	114,296	114,970	100.6	53,586,236,254
		繁殖用雌馬	10	3	2	66.7	1,488,800
	一般馬	育成・肥育馬	1	1	1	100.0	1,652,800
		計	11	4	3	75.0	3,141,600
	種豚	15,908	1,687	1,905	112.9	110,881,600	
	肉豚	134,992	12,769	13,909	108.9	122,399,200	
	種雄牛	14	13	10	76.9	4,497,600	
	種雄馬	0	0	0	0.0	0	
	計	298,764	147,627	148,588	100.7	57,311,755,004	
	疾病 傷害 共済	乳用牛	頭 16,759	頭 13,693	頭 13,004	% 95.0	円 499,700,270
肉用牛		58,787	47,166	47,847	101.4	1,291,381,897	
一般馬		11	4	2	50.0	44,950	
種豚		14,213	29	30	103.4	148,711	
種雄牛		14	13	10	76.9	392,195	
種雄馬		0	0	0	0.0	0	
計		89,784	60,905	60,893	100.0	1,791,668,023	

区分	項目	徴収共済掛金 (円)	交付金又は 納入保険料 (円)	手持共済掛金 (円)
死亡廃用共済		317,059,083	369,328,062	686,387,145
疾病傷害共済		254,380,347	298,148,955	552,529,302
過年度 (期末調整) 含み		11,392,827	601,516	11,994,343
合計 (死廃・疾傷)		582,832,257	668,078,533	1,250,910,790

※引受頭数及び共済金額は、期首引受（一般と短期の合計）と期中変更分です。

引受戸数が廃業等による飼養戸数減少が影響し7,614戸（前年比92.5%）となり、引受頭数では209,481頭（前年比96.5%）となった。

共済金額では、引受頭数の減少及び共済価額の減少が影響し59,103,423千円（前年比96.8%）であり前年度より減少となった。

(事故)

項目 区分		死亡廃用共済				疾病傷害共済	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金	件数	支払共済金
		頭	頭	頭	円	件	円
乳用牛	搾乳牛	980	148	1,128	178,215,671	8,798	139,613,219
	育成乳牛 (子牛等)	189 (138)	3 (0)	192 (138)	12,788,557 (3,946,493)		
	計	1,169	151	1,320	191,004,228		
肉用牛	繁殖用雌牛	468	144	612	180,364,459	33,480	425,131,938
	育成・肥育牛 (子牛等)	2,760 (2,193)	187 (0)	2,947 (2,193)	433,621,779 (178,950,761)		
	計	3,228	331	3,559	613,986,238		
一般馬	繁殖用雌馬	0	0	0	0	0	0
	育成・肥育馬	1	0	1	1,652,800		
	計	1	0	1	1,652,800		
種豚		1	0	1	33,600	2	15,219
肉豚		0	0	0	0		
種雄牛		0	0	0	0	3	59,301
種雄馬		0	0	0	0	0	0
計		4,399	482	4,881	806,676,866	42,283	564,819,677

死廃事故頭数は前年度と比較し、乳用牛で50頭減少したが肉用牛では成牛及び子牛・胎児で86頭増加し全体で24頭の増加（前年比100.4%）となった。暑熱関連の事故や子牛の循環器病・消化器の事故が増加しているほか、火災による死亡事故が56頭発生した。

病傷事故件数は前年度と比較し、乳用牛が453件減少、肉用成牛では1,128件減少するも肉用子牛は342件増加し、全体としては1,243件減少（前年比97.1%）となった。病類別では、特に乳用成牛の消化器病が199件減少、泌乳器病170件減少しているが生殖器病が149件増加している。肉用子牛では呼吸器病が139件減少するも消化器病が380件増加した。

支払共済金は、死廃事故で806,676千円となり前年度よりも47,079千円減少（前年比94.4%）となった。これは、事故頭数は増加しているものの1頭当たりの事故家畜の評価額が前年度より減少したことによる。また、牛伝染性リンパ腫による事故が、前年度より8頭減少の137頭で支払共済金49,070千円（全体の6.0%）となった。

病傷事故は、564,819千円となり前年度よりも15,756千円減少（前年比97.2%）した。これは、乳用牛の支払共済金13,599千円減少及び肉用成牛14,271千円の減少が要因ではあるが、肉用子牛は12,167千円増加しており子牛に係る事故が多発した。

(損害防止)

実施種目	対象頭数又は回数	経費概算 (円)	摘 要	
特定損害防止	1,755 頭	10,807,580		
一般損害防止	健康検査	880 頭	0	
	予防衛生措置	7,256 頭	7,793,596	予防注射等
	飼養管理指導	536 頭	0	
	事故防止講話会	17 回	0	
	代謝プロファイルテスト	478 頭	822,160	
	搾乳立会	0 回	0	
	超音波繁殖検診	14,794 頭	11,835,200	
計	25,699 頭 17 回	31,258,536		

(家畜診療センター等)

家畜診療センター等名	職員数	管内頭数			診療件数	
		有資格頭数	死亡廃用 共済引受	疾病傷害 共済引受	共済事故	事故外
	人	頭	頭	頭	件	件
県 南	12	70,499	35,562	9,138	2,805	198
中 央	14	86,845	47,034	25,962	8,854	131
県 北	18	141,420	65,992	25,793	4,413	149
家畜診療 研 修 所	13					
計	44	298,764	148,588	60,893	16,072	478

家畜診療センター等名	損害防止事業		
	一般	特損	経費概算
	頭	頭	円
県 南	8,224	753	10,980,200
中 央	9,723	406	11,975,988
県 北	5,997	596	8,302,348
家畜診療 研 修 所			
計	23,944	1,755	31,258,536

特定損害防止事業では、牛伝染性リンパ腫発症数の低減が認められ、一定の効果が認められた。

一般損害防止事業では、各種ワクチン接種による個体予防衛生措置や超音波画像診断装置を用いた牛群を対象とした飼養管理指導を実施し、さらに、令和5年度家畜共済事故対策協議会においても、令和4年度に引き続き牛伝染性リンパ腫に対する衛生管理指導を行った。

獣医師の診療技術関係では、各種研修会へ積極的に参加し診療技術向上を図り、疾病予防関連では、事故多発農場における疾病予防を目的とした臨床試験研究を行った。

(3) 果樹共済関係

(引受)

年度	果樹区分					組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
						人	a	円	円	円	円
令和5年度 (令和6年産)	りんご	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0	/	/
		半総	相合	殺短	減縮	33	1,205	31,610,000	485,704		
		小計		33	1,205	31,610,000	485,704				
	なし	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0		
		半総	相合	殺短	減縮	43	2,003	86,184,000	1,954,791		
		小計		43	2,003	86,184,000	1,954,791				
合計		76	3,209	117,794,000	2,440,495	516,831	2,957,326				
令和4年度 (令和5年産)	りんご	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0	/	/
		半総	相合	殺短	減縮	40	1,565	47,189,000	753,437		
		小計		40	1,565	47,189,000	753,437				
	なし	半総	相合	殺一	減収	0	0	0	0		
		半総	相合	殺短	減縮	47	2,474	107,490,000	2,598,716		
		小計		47	2,474	107,490,000	2,598,716				
合計		87	4,039	154,679,000	3,352,153	913,329	4,265,482				

果樹栽培農家の高齢化、後継者不足等から廃園、規模縮小や収入保険への移行により戸数及び引受面積は減少した。

りんごは、前年産に対し引受面積で360a減少、共済金額で15,579千円減少した。

なしは、引受面積で471a減少、共済金額は21,306千円減少した。

有資格面積に対する引受率は、りんごで11.7%、なしで19.6%となった。

参考 農林統計結果樹面積に対する引受率 りんご6.9%(令和4年産りんご174ha)
なし15.1%(令和4年産なし133ha)

(被害) 令和5年産

果樹区分		被害組合員数	共済金	共済金／ 共済金額
		人	円	%
りんご	半総 相合 殺一 減取 般	0	0	0.00
	半総 相合 殺短 減取 縮	10	3,241,500	6.87
	小計	10	3,241,500	6.87
なし	半総 相合 殺一 減取 般	0	0	0.00
	半総 相合 殺短 減取 縮	12	9,377,150	8.72
	小計	12	9,377,150	8.72
合計		22	12,618,650	8.16

気象経過については、3月の平均気温はかなり高く、降水量は平年並みから少なく、日照時間については多かった。4月は気温が高く経過することが多かったが、強い寒気が南下して雪となる日もあるなど寒暖差が大きかった。4月の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は多かった。5月の平均気温は平年並みから高く、降水量は平年並み、日照時間は多かった。6月の平均気温はかなり高く、降水量は多め、日照時間は平年並みから多かった。また、東北南部は6月11日ごろ梅雨入りし、7月22日ごろ梅雨明けしたとみられた。7月から9月にかけて平均気温はかなり高く、降水量は平年並みから少なく、日照時間は多かった。10月に入り記録的な高温は収まったものの、気温の高い状態が続いた。21日から22日にかけては西高東低の気圧配置となり寒気が流れ込んだため、22日には蔵王山の初冠雪を観測した（平年より6日早く、昨年より14日早い）。平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多かった。11月は高気圧と低気圧が交互に通過して天気は周期的に変化し、17日は県内全般でまとまった雨となった。また、低気圧や前線の通過後は冬型の気圧配置となり寒気の流入により13日は泉ヶ岳で初冠雪を観測し（平年と同じく昨年より19日早い）、25日は仙台で初雪を観測した（平年より1日早く、昨年より7日早い）。平均気温は高く、降水量は多め、日照時間はやや多かった。

令和5年産りんごの発芽期から開花期の生育状況は、平年と比較するとかなり早めに推移し、開花は10日から16日早かった（宮城県農業・園芸総合研究所）。被害状況については、4月10日と25日の降霜により開花中のめしべや子房が褐色し受精せず結実不良となり着果数が減少、サビ果も多く発生し収量が減少した。また、10月6日の強風により果実の落下及び傷果の被害が発生、さらに10月18日、23日にはクマ出没により一部の園地で枝の折損及び果実の食害による被害が発生した。

令和5年産なしの発芽期から開花期の生育状況は、平年と比較すると幸水の開花は14日程度早く、発芽から落花期までの春先全体の生育は平年と比べて14日程早まった（宮城県農業・園芸総合研究所）。被害状況については、4月10日と25日の降霜により開花中のめしべや子房が褐色し受精せず結実不良となり着果数が減少した。また、果実の変形果等が発生し収量が減少した。

(支払) 令和5年産

果樹区分	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 ／共済 金	
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他		
		円	円	円	円	円	円	%	
りんご	半総 相合 殺一 減取 般	0	/	/	/	/	/	/	
	半総 相合 殺短 減取 縮	2月21日	3,241,500	/	/	/	/	/	
	小計		3,241,500	/	/	/	/	/	
なし	半総 相合 殺一 減取 般	0	/	/	/	/	/	/	
	半総 相合 殺短 減取 縮	12月15日	9,377,150	/	/	/	/	/	
	小計		9,377,150	/	/	/	/	/	
合計			12,618,650	7,823,431	4,265,482	529,737	0	0	100

(4) 畑作物共済関係

(引受) 令和5年産

区分		項目	組合員数	引受面積等	共済金額
ばれいしょ	全相殺		7人	2,631 ^a	22,217,111円
	計		7	2,631	22,217,111
大豆	半相殺		21	6,860	13,962,224
	全相殺		279	499,771	1,686,676,680
	計		300	506,631	1,700,638,904
そば	全相殺		4	4,581	1,586,779
	インデックス		9	5,153	1,650,324
	計		13	9,734	3,237,103
蚕繭	春蚕繭		3人	7.82箱	609,930円
	初秋蚕繭		1	1.78	120,480
	晩秋蚕繭		4	8.55	544,670
	計	延実	8	18.15	1,275,080
計		延実	328		1,727,368,198
		実	319		

区分		項目	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
ばれいしょ	全相殺		650,304円		
	計		650,304		
小計			650,304	479,478	1,129,782
大豆	半相殺		445,440		
	全相殺		52,809,121		
	計		53,254,561		
そば	全相殺		50,115		
	インデックス		66,141		
	計		116,256		
蚕繭	春蚕繭		3,668		
	初秋蚕繭		644		
	晩秋蚕繭		10,069		
	計		14,381		
小計			53,385,198	53,873,620	107,258,818
計			54,035,502	54,353,098	108,388,600

大豆は3支所全てで引受を実施し、引受面積は収入保険への移行もあり前年産と比較し293ha減少し、5,066ha（前年産対比94.5%）となった。統計作付面積11,700haに対する引受率は43.3%（前年産45.0%）となった。また、共済金額は1,700,639千円となり前年産と比較し75,053千円減少した。

ばれいしょは2支所で引受を実施し、前年産と比較して引受戸数は3戸増加し、引受面積は10ha増加して26ha（前年産対比161.8%）となった。また、共済金額は6,899千円増加し、22,217千円となった。

そばは3支所全てで引受を実施し、前年産と比較して引受実戸数は3戸増加し、引受面積は63ha増加して97ha（前年産対比283.7%）となった。また、共済金額は1,990千円増加し、3,237千円となった。

蚕繭は2支所で引受を実施し、引受実戸数は3戸で前年同様だった。共済箱数は18.15箱と前年産より0.08箱増加した。

(被害) 令和4年産

区分	項目	被害 組合員数	共済減収量	共済金	共済金/共済金額
ばれいしよ	全相殺	4	247,736	10,652,648	69.54
	計	4	247,736	10,652,648	69.54
大豆	半相殺	9	48,206	6,483,431	29.42
	全相殺	154	1,125,198	266,754,481	15.21
	計	163	1,173,404	273,237,912	15.39
そば	全相殺	0	0	0	0.00
	インデックス	2	403	63,674	12.39
	計	2	403	63,674	5.10
蚕繭	春蚕繭	0	0	0	0.00
	初秋蚕繭	0	0	0	0.00
	晩秋蚕繭	0	0	0	0.00
	計	0	0	0	0.00
計		169	1,421,543	283,954,234	-

(支払) 令和4年産

区分	項目	支払 月日 (確定日)	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 /共済金							
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他								
ばれいしよ	全相殺	令和5年 5月12日	10,652,648	/	/	/	/	/	/							
大豆	半相殺		6,483,431													
	全相殺		266,754,481													
そば	全相殺		0													
	インデックス		63,674													
蚕繭	春蚕繭		0													
	初秋蚕繭		0													
	晩秋蚕繭		0													
計										283,954,234	150,387,099	106,483,810	27,083,325	0	0	100

ばれいしよの植付けは、4月中旬以降の好天により高温、多照傾向で経過したため、おおむね順調に行われた。

初期生育は5月上旬から下旬にかけて高温傾向で経過したが、6月上旬の大雨の影響により、圃場の湿潤状態が続き、生育が阻害された。

さらに、7月13日、15日から16日にかけて県北部を中心に豪雨が発生し、作付圃場が浸冠水した。掘取り前のいもが腐敗するなどの被害が発生し、掘取りができない農家も発生したため大きな被害となった。

大豆の播種はおおむね適期に行われた。播種期の6月上旬は低温・寡照だったが播種後の6月下旬から7月上旬までおおむね高温傾向に転じた。7月上旬は、気温は平年より高く、降水量は平年を下回り、多照となった。7月中旬は、平均気温は平年並みだったが、7月13日の大雨と15日から16日にかけて豪雨の影響で寡照となった。

生育状況は5月下旬に適度な降雨があり、7月上旬の出芽揃いは良好であった。主茎節数は平年並み、分枝数及び総節数は平年より少なかった。

また、7月の豪雨の影響で除草剤等の薬効の低下や中耕培土の作業ができず、雑草の繁茂により生育が抑制された圃場も散見された。

7月中旬以降下旬にかけて天候の好転により高温・多照傾向で経過したため、生育が平年並みまで回復した品種も見受けられた。ただし、品種によってはやや蔓化し倒伏したものも見受けられた。

収穫作業は収穫時期が少雨・多照傾向で経過したため、おおむね順調に行われた。農林統計による宮城県の作柄は、令和4年産で10a当たり収量133kg、前年比66%となった。

被害状況は、7月13日の大雨と15日から16日にかけての豪雨により、圃場が浸冠水被害となり、株の枯死や初期生育の不良等により大きな減収となった。また、山間地域の圃場において、収穫期にイノシシによる食害や圃場内の踏み荒らしによる茎の折損等の被害が発生した。

そばについては、播種時期の8月上旬は寡照だったが8月中旬以降は天候の好転により高温傾向で経過したため、おおむね適期に行われた。

開花期にあたる9月上旬は寡照だったが、9月中旬から下旬にかけて高温・多照傾向で経過したため、生育はおおむね良好であった。

収穫作業は収穫時期が少雨・多照傾向で経過したため、おおむね順調に行われた。

被害状況は、8月中旬から9月上旬にかけて長雨により生育が阻害された。排水対策を講じていたが、長期間まとまった降雨により土壌湿潤害が発生した。

(参考：令和5年産 畑作物共済被害概況)

令和元年産から畑作物共済については、全ての畑作物の損害が確定した後に保険金の支払となることから、令和5年産の損害については、年度内に支払額の確定に至らず、仮渡として下記のとおり共済金を支払いしております。

なお、仮渡としておりますが、支払金額に変更はありません。

区分	項目	支払月日 (仮渡月日)	被害組合員数	共済減収量	仮渡共済金
			人	kg	円
ばれいしょ	全相殺	令和5年11月17日	2	50,092	2,153,956
大豆	半相殺	令和6年2月28日	12	29,393	3,879,876
	全相殺	令和6年3月27日 令和6年3月28日 令和6年4月10日	99	518,857	100,059,736
	計		111	548,250	103,939,612
そば	全相殺	令和6年2月28日	4	5,727	817,952
	インデックス	令和6年5月8日	3	377	53,534
	計		7	6,104	871,486
蚕繭	春蚕繭		0	0	0
	初秋蚕繭		0	0	0
	晩秋蚕繭		0	0	0
	計		0	0	0

ばれいしょの植付けは、4月中旬以降の好天により高温・多照傾向で経過したため、おおむね順調に行われた。初期生育は5月上旬から下旬にかけて高温傾向で経過したが、6月中旬の大雨の影響により、一部圃場で生育が停滞した圃場もあったがおおむね順調に生育した。

さらに、7月19日に県中部を中心とした大雨により、作付圃場が浸冠水し、掘取り前のいもが腐敗するなどの被害が発生し、掘取りができない圃場も発生した。

大豆の生育状況は、播種は播種期の6月に降水量が多かったものの、おおむね適期に行われた。播種後は高温・多照の期間が長く続き、開花前の生育量は平年を上回った。開花期、開花後にあたる7月下旬から、気温は平年より高く、降水量は平年を下回り、少雨・多照の状態が8月下旬まで続き、土壌が乾燥し、高温障害となった圃場が散見された。

9月上旬にまとまった降雨があり、圃場によっては湿潤状態が続いた。

10月以降は少雨傾向で経過したため収穫作業はおおむね順調に行われた。

被害状況は、高温の影響により着莢数の減少及び青立ちや生育ムラが生じ、莢は形成されたが小粒や不稔粒となり大幅な収量の減少となった。

また、山間地域の圃場において、収穫期にイノシシによる食害や圃場内の踏み荒らしによる茎の折損等の被害が発生した。

そばについては、播種時期の8月上旬は好天により高温傾向で経過し、おおむね適期に行われた。

開花期にあたる9月上旬に強雨、収穫期前の9月下旬にもまとまった降雨があり、土壌湿潤状態が続いた。

収穫作業は収穫時期が少雨・多照傾向で経過したため、おおむね順調に行われた。

被害状況は、8月中旬から9月上旬にかけて長雨により生育が阻害された。排水対策を講じていたが、長期間まとまった降雨により土壌湿潤害が発生した。

(5) 園芸施設共済関係

(引受)

区分 \ 項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額
	人	棟	㎡	円	円
ガラスⅡ類	20	32	33,131	477,963,568	382,370,850
プラスチックⅠ類	1	1	66	314,092	314,091
プラスチックⅡ類	8,995	17,957	2,557,358	7,667,914,636	6,080,161,604
プラスチックⅢ類	27	37	75,624	518,114,086	298,052,832
プラスチックⅣ類(甲)	153	192	156,965	1,632,935,147	1,277,374,928
プラスチックⅣ類(乙)	173	263	343,589	3,996,443,267	3,146,085,742
プラスチックⅤ類	21	25	13,958	179,231,344	140,259,217
プラスチックⅥ類	7	9	2,768	7,874,057	6,299,243
計	9,397	18,516	3,183,459	14,480,790,197	11,330,918,507

区分 \ 項目	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
	円	円	円
ガラスⅡ類	2,021,377	3,343	2,024,720
プラスチックⅠ類	40	10	50
プラスチックⅡ類	88,058,962	32,518,641	120,577,603
プラスチックⅢ類	4,275,324	171,951	4,447,275
プラスチックⅣ類(甲)	7,924,669	1,435,904	9,360,573
プラスチックⅣ類(乙)	10,456,422	5,275,792	15,732,214
プラスチックⅤ類	549,055	444,215	993,270
プラスチックⅥ類	142,399	107,437	249,836
計	113,428,248	39,957,293	153,385,541

国の補助事業等で導入された大型施設等に対し園芸施設共済の制度内容を丁寧に説明するなど加入推進を積極的に実施したが、水稻作付けの委託等による育苗ハウス等有資格棟数の減少、過去の災害による危険段階区分の上昇による掛金負担の増加のため継続加入農家が減少し、前年度引受実績に対し棟数で822棟減少した。また、共済金額は262,199千円減少した。

(被害)

項目 区分	被害 組合 員数	被害 棟数	損害の額	共済金							共済金 ／ 共済金 額
				特定 園芸施設	附帯施設	施設内 農作物	撤去費用	復旧費用	付保割合 追加特約	合計	
	人	棟	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラスⅡ類	1	1	720,480	576,384	0	0	0	0	0	576,384	0.15
プラスチックⅠ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックⅡ類	1,177	1,682	89,088,929	70,307,111	0	196,692	0	0	338,715	70,842,518	1.17
プラスチックⅢ類	2	2	1,973,256	804,451	0	0	0	0	0	804,451	0.27
プラスチックⅣ類(甲)	9	10	1,068,747	310,869	0	544,124	0	0	0	854,993	0.07
プラスチックⅣ類(乙)	13	16	3,598,778	2,374,328	316,293	0	228,729	0	0	2,919,350	0.09
プラスチックⅤ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
プラスチックⅥ類	2	2	27,963	22,370	0	0	0	0	0	22,370	0.36
過年度分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	1,204	1,713	96,478,153	74,395,513	316,293	740,816	228,729	0	338,715	76,020,066	0.67

共済事故の主なものとしては、10月6日の低気圧の通過に伴う強風による本体及び被覆物の被害、2月1日、16日、27日の低気圧の通過に伴う強風及び2月22日の降雪による本体及び被覆物の被害、3月9日、17日、18日、29日の低気圧の通過に伴う強風による本体及び被覆物の被害等が発生し共済金を支払いした。

(支払)

実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 ／ 共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
76,020,066	2,944,214	73,075,852	0	0	0	100

(6) 任意共済関係

1 建物共済関係

(引受)

項目 区分	加入棟数	共済金額	共済掛金	
			純共済掛金	賦課金
	棟	円	円	円
火災共済	85,686	1,044,313,280,000	563,316,550	459,845,680
総合共済	18,213	179,822,930,000	392,748,917	110,011,563
計	103,899	1,224,136,210,000	956,065,467	569,857,243

項目 区分	1棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
	円	円	円
火災共済	12,187,677	306,239,596	123,817,602
総合共済	9,873,328	213,740,703	33,052,092
計又は平均	11,781,983	519,980,299	156,869,694

(注) 総共済掛金額1,525,922,710円、任意保険料割合 地震等50%・地震等以外30%、保険料手数料割合 火災共済40.45%・総合共済16.90%

共済資源の減少や他保険への移行が影響し、引受棟数103,899棟、共済金額 1兆2,241億3,621万円となり、前年度に対して棟数で2,546棟、共済金額で336億9,243万円減少し、前年対比97.3%となった。

内訳は、火災共済で317億3,397万円減（前年対比97.1%）、総合共済で19億5,846万円減（前年対比98.9%）であった。

(事故)

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
		火災	風水害等		
棟	円	円	円	円	%
755	8,877,940,000	498,381,000	205,530,179	238,375,434	7.93

令和5年度の事故は、棟数755棟、支払共済金7億391万円で、前年度に対して棟数で5,714棟、支払共済金で35億5,958万円減少した。

内訳は、火災事故等で支払共済金が7,824万円増加し、風水害等では36億3,783万円減少した。

(建物共済原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故棟数		加入総 共済金額 (イ) 円	支払共済金 (ロ) 円	任意保険金 円	被害率 (ロ) / (イ) %
	棟	内家具 類等 棟				
地震等	242		2,862,800,000	136,011,446	68,005,717	4.75
風水害等	91		976,550,000	18,990,394	5,697,078	1.94
落雷	90	31	1,168,400,000	10,403,230	3,120,931	0.89
雪害等	89		931,550,000	18,617,287	5,585,150	2.00
外部からの落下	80		38,000,000	8,182,301	2,454,656	21.53
水道管凍結	67		827,450,000	3,313,328	993,988	0.40
火災	43	16	568,200,000	448,636,598	134,590,961	78.96
類焼	16	3	129,500,000	49,744,402	14,923,312	38.41
給排水設備	16	1	993,140,000	5,602,401	1,680,711	0.56
車両の飛び込み	7		220,350,000	1,381,592	414,476	0.63
盗難による汚毀損	5		68,000,000	141,489	42,444	0.21
その他の自然災害	5		54,000,000	509,835	152,949	0.94
建物内部の車両衝突	4		40,000,000	2,376,876	713,061	5.94
計	755	51	8,877,940,000	703,911,179	238,375,434	7.93

2 農機具共済関係

(引受)

区分 \ 項目	加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	
	台	円	円	円	円
火災共済	20,157	43,772,970,000	21,936,205	15,883,504	2,171,601
総合共済	16,290	57,748,260,000	172,813,933	129,928,596	3,545,013
計又は平均	36,447	101,521,230,000	194,750,138	145,812,100	2,785,448

新規導入農機具や未加入農機具の加入推進を行い、組合員の減少や作業委託の増加等もあったが、引受台数で36,447台、共済金額は1,015億2,123万円となった。前年度に対して台数で564台、共済金額は36億2,481万円増加した。

(事故)

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)
	台	円	円	%
接触	298	1,599,720,000	56,814,758	3.55
作業機との接触・衝突による事故	37	211,880,000	2,073,621	0.98
異物の巻き込み	28	167,210,000	6,415,225	3.84
収穫物等の詰まりによる事故	28	253,130,000	3,073,492	1.21
自機または接続した作業機からの物体の落下・飛来	16	90,730,000	1,278,732	1.41
道路の段差を乗り越えるとき等の衝撃による事故	15	86,110,000	1,991,536	2.31
転覆	12	65,090,000	9,660,938	14.84
物体の落下及び飛来	7	33,820,000	644,341	1.91
ほ場等から引き揚げられる時のけん引による事故	6	23,320,000	979,305	4.20
火災	5	10,310,000	6,291,276	61.02
鳥獣害	5	25,210,000	1,563,878	6.20
墜落	5	19,950,000	1,029,664	5.16
自然災害・突風	5	38,050,000	251,903	0.66
落雷	2	22,820,000	1,469,750	6.44
衝突	2	13,400,000	846,320	6.32
地震	1	600,000	300,000	50.00
自然災害・雪崩等の雪害	1	490,000	125,553	25.62
物体の落下及び飛来(格納中)	1	2,600,000	81,444	3.13
自然災害・洪水	1	790,000	17,986	2.28
計	475	2,665,230,000	94,909,722	3.56

令和5年度の事故は、台数475台、支払共済金9,491万円で、前年度に対して、11台減少、支払共済金は790万円増加した。

(7) 農機具更新共済関係

(引受)

加入台数	共済金額	減価共済金額	共済掛金		
			純共済掛金		賦課金
			災害部分	減価部分	
台 16	円 104,090,000	円 61,000,000	円 436,052	円 9,094,300	円 313,810

引受台数は16台、共済金額は1億409万円で、前年度に対して4台、共済金額で1,627万円減少した。

(事故)

事故台数	期間満了 台数	加入総共済金額		支払共済金		被害率 (ロ) / (イ)
			内事故部分 (イ)	接触 (ロ)	期間満了 によるもの	
台 1	台 4	円 22,050,000	円 4,000,000	円 134,973	円 12,800,000	% 3.37

令和5年度に期間満了となった4台に、満期共済金として1,280万円を支払った。また、事故は1台、支払共済金として134,973円を支払った。

(8) 保管中農産物補償共済関係

(引受)

内訳	加入口数	共済金額	共済掛金等		保険料等
			純共済掛金	賦課金	
Aタイプ	口 89	円 89,000,000	円 155,750	円 66,750	円 165,718
Bタイプ	20	20,000,000	91,000	39,000	96,840
計	109	109,000,000	246,750	105,750	262,558

(事故)

事故件数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
件 0	円 0	円 0	円 0	% -

(9) 農業経営収入保険関係

(引受)

加入経営体数			基準収入金額
個人	法人	計	
人	人	人	円
3,176	339	3,515	36,881,862,081

※基準収入金額は令和6年3月末時点の金額。

(事故)

内訳	支払件数	支払保険金等
	人	円
個人	1,148	870,179,646
法人	144	699,039,636
計	1,292	1,569,219,282

※令和5年4月1日から令和6年3月31日にNOSAI全国連から加入者に支払われた分。
猛暑等の気象災害による収穫量の減少、イノシシ等の獣害による収穫量の減少など。

(つなぎ融資)

内訳	貸付件数	貸付金額
	人	円
個人	14	18,720,000
法人	9	25,160,000
計	23	43,880,000

※令和5年4月1日から令和6年3月31日にN O S A I 全国連から加入者に融資された分。

支 所 別 明 細

(10) 支所別明細

項目 区分	支所名	引受(加入)										
		計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比		
		引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	
農作物	水稲	ha	千円	ha	千円	ha	千円	%	%	%	%	
		県南	6,064	4,429,955	5,450	4,019,009	6,336	4,636,627	89.9	90.7	86.0	86.7
		中央	14,790	10,353,872	15,268	10,974,819	16,545	11,785,287	103.2	106.0	92.3	93.1
		県北	14,012	10,915,153	15,614	12,260,035	17,018	13,398,300	111.4	112.3	91.7	91.5
	小計	34,867	25,698,980	36,332	27,253,863	39,899	29,820,215	104.2	106.1	91.1	91.4	
	麦	ha	千円	ha	千円	ha	千円	%	%	%	%	
		県南	40	3,172	34	2,516	40	3,177	85.0	79.3	85.0	79.2
		中央	579	202,764	607	258,755	631	212,767	104.8	127.6	96.2	121.6
県北		629	57,907	567	52,390	631	58,001	90.1	90.5	89.9	90.3	
小計	1,248	263,844	1,208	313,661	1,302	273,945	96.8	118.9	92.8	114.5		
果樹	りんご	a	千円	a	千円	a	千円	%	%	%	%	
		県南	1,038	30,361	769	20,164	1,012	29,723	74.1	66.4	76.0	67.8
		中央	254	7,280	217	5,011	256	7,637	85.4	68.8	84.8	65.6
		県北	304	10,623	219	6,435	297	9,829	72.0	60.6	73.7	65.5
	小計	1,596	48,264	1,205	31,610	1,565	47,189	75.5	65.5	77.0	67.0	
	なし	ha	千円	ha	千円	ha	千円	%	%	%	%	
		県南	2,013	76,649	1,564	64,384	2,013	83,452	77.7	84.0	77.7	77.2
		中央	460	25,330	439	21,800	460	24,038	95.4	86.1	95.4	90.7
県北		0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	
小計	2,473	101,979	2,003	86,184	2,474	107,490	81.0	84.5	81.0	80.2		

区分	項目	支所名	被害又は事故				比較	
			本年度		前年度			
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金		
農作物	水	県南	kg 19,777	円 3,798,776	kg 100,422	円 19,380,519	% 19.6	
		中央	92,356	14,501,662	736,802	118,442,027	12.2	
		県北	41,748	7,921,767	348,683	69,503,681	11.4	
		小計	153,881	26,222,205	1,185,907	207,326,227	12.6	
	稲	県南		513,496		302,270	169.9	
		中央		14,345,651		21,387,000	67.1	
		県北		4,436,591		5,092,380	87.1	
		小計		19,295,738		26,781,650	72.0	
	果樹	りんご	県南	kg 21,691	円 1,478,480	kg 1,369	円 78,960	% 1,872.4
			中央	14,740	1,679,180	1,470	54,040	3,107.3
			県北	1,161	83,840	1,638	98,930	84.7
			小計	37,592	3,241,500	4,477	231,930	1,397.6
なし		県南	73,882	7,868,670	12,270	1,026,920	766.2	
		中央	9,650	1,508,480	0	0	—	
		県北	0	0	0	0	—	
		小計	83,532	9,377,150	12,270	1,026,920	913.1	

項目 区分	支所名	引受（加入）										
		計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比		
		引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	
畑作物	大豆	ha	千円	ha	千円	ha	千円	%	%	%	%	
		県南	425	7,417	408	78,550	437	76,496	96.0	1,059.1	93.4	102.7
		中央	2,923	1,029,172	2,806	1,002,726	2,963	1,032,027	96.0	97.4	94.7	97.2
		県北	1,700	604,650	1,853	619,363	1,959	667,169	109.0	102.4	94.6	92.8
	小計	5,048	1,641,239	5,066	1,700,639	5,360	1,775,692	100.4	103.6	94.5	95.8	
	ばれいしょ	ha	千円	ha	千円	ha	千円	%	%	%	%	
		県南	6	5,429	6	4,496	3	2,858	100.0	82.8	200.0	157.3
		中央	13	12,427	20	17,721	13	12,460	153.8	142.6	153.8	142.2
		県北	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	小計	19	17,856	26	22,217	16	15,318	136.8	124.4	161.9	145.0	
	そば	ha	千円	ha	千円	ha	千円	%	%	%	%	
		県南	6	209	16	544	6	209	282.2	260.3	282.2	260.3
		中央	15	625	15	730	18	734	99.6	116.8	82.8	99.5
		県北	10	284	66	1,963	10	305	663.7	691.4	645.6	643.9
	小計	31	1,118	97	3,237	34	1,247	314.8	289.6	283.7	259.5	
	蚕繭	箱	千円	箱	千円	箱	千円	%	%	%	%	
県南		6.80	488	7.15	449	6.82	488	105.1	92.0	104.8	92.0	
中央		0.00	0	0.00	0	0.00	0	—	—	—	—	
県北		10.00	825	11.00	826	11.25	797	110.0	100.1	97.8	103.6	
小計	16.80	1,313	18.15	1,275	18.07	1,285	108.0	97.1	100.4	99.2		

区分	項目	支所名	被害又は事故				比較
			本年度		前年度		
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
畑 作 物	大豆	県南	kg 6,080	円 930,539	kg 9,167	円 1,421,319	% 65.5
		中央	881,454	198,474,940	41,247	8,213,249	2,416.5
		県北	285,870	73,832,433	6,743	990,682	7,452.7
		小計	1,173,404	273,237,912	57,157	10,625,250	2,571.6
	ばれいしょ	県南	kg 11,784	円 506,712	kg 13,597	円 571,074	% 88.7
		中央	235,952	10,145,936	46,289	1,944,138	521.9
		県北	0	0	0	0	—
		小計	247,736	10,652,648	59,886	2,515,212	423.5
	そば	県南	kg 0	円 0	kg 0	円 0	% —
		中央	0	0	0	0	—
		県北	403	63,674	1,955	344,080	18.5
		小計	403	63,674	1,955	344,080	18.5
	蚕繭	県南	kg 0	円 0	kg 42	円 102,900	% —
		中央	0	0	0	0	—
		県北	0	0	0	0	—
		小計	0	0	42	102,900	—

項目 区分	支所名	引受 (加入)										
		計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比		
		引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	
園芸施設	県南	棟 5,798	千円 4,070,753	棟 5,458	千円 4,199,505	棟 5,781	千円 4,268,714	% 94.1	% 103.2	% 94.4	% 98.4	
	中央	6,939	3,365,091	6,793	3,294,257	7,124	3,517,182	97.9	97.9	95.4	93.7	
	県北	6,265	3,593,860	6,265	3,837,157	6,433	3,807,222	100.0	106.8	97.4	100.8	
	小計	19,002	11,029,704	18,516	11,330,919	19,338	11,593,118	97.4	102.7	95.7	97.7	
任意	建物	県南	棟 31,633	千円 389,118,170	棟 30,932	千円 380,532,600	棟 31,781	千円 390,898,350	% 97.8	% 97.8	% 97.3	% 97.3
		中央	34,757	412,172,850	34,427	406,908,030	35,386	419,655,330	99.1	98.7	97.3	97.0
		県北	38,542	438,899,030	38,540	436,695,580	39,278	447,274,960	100.0	99.5	98.1	97.6
		小計	104,932	1,240,190,050	103,899	1,224,136,210	106,445	1,257,828,640	99.0	98.7	97.6	97.3
	農機具	県南	台 8,690	千円 22,764,720	台 8,366	千円 22,361,290	台 8,379	千円 22,010,250	% 96.3	% 98.2	% 99.8	% 101.6
		中央	14,145	40,127,710	14,018	40,556,610	14,221	40,285,080	99.1	101.1	98.6	100.7
		県北	13,368	35,859,730	14,079	38,707,420	13,303	35,721,450	105.3	107.9	105.8	108.4
		小計	36,203	98,752,160	36,463	101,625,320	35,903	98,016,780	100.7	102.9	101.6	103.7
	保管中農産物補償	県南	口 20	千円 20,000	口 18	千円 18,000	口 20	千円 20,000	% 90.0	% 90.0	% 90.0	% 90.0
		中央	65	65,000	55	55,000	70	70,000	84.6	84.6	78.6	78.6
		県北	36	36,000	36	36,000	36	36,000	100.0	100.0	100.0	100.0
		小計	121	121,000	109	109,000	126	126,000	90.1	90.1	86.5	86.5

区分	項目	支所名	被害又は事故				比較	
			本年度		前年度			
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金		
園 芸 施 設			棟	円	棟	円	%	
	県南		349	16,374,556	145	7,765,418	210.9	
	中央		757	32,874,022	266	30,477,912	107.9	
	県北		607	26,771,488	250	16,647,479	160.8	
	小計		1,713	76,020,066	661	54,890,809	138.5	
任 意	建 物		棟	円	棟	円	%	
		県南		222	255,056,332	2,262	1,798,153,838	14.2
		中央		283	188,584,262	1,917	1,125,113,654	16.8
		県北		250	260,270,585	2,290	1,340,226,903	19.4
		小計		755	703,911,179	6,469	4,263,494,395	16.5
	農 機 具			台	円	台	円	%
		県南		115	24,432,285	87	14,055,681	173.8
		中央		194	38,348,350	203	33,126,575	115.8
		県北		167	32,264,060	196	39,823,870	81.0
		小計		476	95,044,695	486	87,006,126	109.2
	保 管 中 農 産 物 補 償			kg	円	kg	円	%
		県南		0	0	0	0	—
		中央		0	0	0	0	—
県北			0	0	0	0	—	
小計			0	0	0	0	—	

項目 区分	支所名	引受（加入）										
		計画		実績		前年度実績		達成率		前年度対比		
		引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	引受数量	共済金額	
家畜	死亡 廃用	頭	千円	頭	千円	頭	千円	%	%	%	%	
		県南	34,584	10,978,916	35,562	12,092,411	35,105	12,645,955	102.8	110.1	101.3	95.6
		中央	40,795	12,397,185	40,037	11,903,213	43,167	12,877,231	98.1	96.0	92.7	92.4
		県北	72,248	33,406,261	72,989	33,316,131	75,066	34,602,990	101.0	99.7	97.2	96.3
	小計	147,627	56,782,362	148,588	57,311,755	153,338	60,126,176	100.7	100.9	96.9	95.3	
	疾病 傷害	頭	千円	頭	千円	頭	千円	%	%	%	%	
		県南	9,556	349,342	9,138	255,201	9,548	131,569	95.6	73.1	95.7	194.0
		中央	21,904	713,724	21,655	668,270	22,990	332,939	98.9	93.6	94.2	200.7
		県北	29,445	880,166	30,100	868,197	31,100	448,446	102.2	98.6	96.8	193.6
	小計	60,905	1,943,232	60,893	1,791,668	63,638	912,954	100.0	92.2	95.7	196.2	
	家畜計	頭	千円	頭	千円	頭	千円	%	%	%	%	
		県南	44,140	11,328,258	44,700	12,347,612	44,653	12,777,524	101.3	109.0	100.1	96.6
		中央	62,699	13,110,909	61,692	12,571,483	66,157	13,210,170	98.4	95.9	93.3	95.2
		県北	101,693	34,286,427	103,089	34,184,328	106,166	35,051,435	101.4	99.7	97.1	97.5
	小計	208,532	58,725,594	209,481	59,103,423	216,976	61,039,129	100.5	100.6	96.5	96.8	
	支所計	県南		431,855,581		423,649,120		434,807,868		98.1		97.4
中央			480,473,031		475,666,941		489,812,712		99.0		97.1	
県北			524,264,489		526,401,497		536,025,468		100.4		98.2	
合計			1,436,593,101		1,425,717,558		1,460,646,047		99.2		97.6	

(備考) 計画については、第17回通常総代会で承認されたものを支所毎に表示している。

端数処理の関係で合計が必ずしも一致しない。

区分	項目	支所名	被害又は事故				比較
			本年度		前年度		
			被害 (事故)数	共済金	被害 (事故)数	共済金	
家畜	死亡 廃用	頭	円	頭	円		
		県南	946	153,574,910	1,051	173,459,459	88.5
		中央	1,958	292,573,728	1,884	295,166,320	99.1
		県北	1,977	360,528,228	1,922	385,317,952	93.6
	小計	4,881	806,676,866	4,857	853,943,731	94.5	
	疾病 傷害	件	円	件	円		
		県南	5,830	88,239,015	6,198	96,761,236	91.2
		中央	15,011	189,634,385	15,285	196,635,562	96.4
		県北	21,442	286,946,277	22,043	287,178,287	99.9
	小計	42,283	564,819,677	43,526	580,575,085	97.3	
	家畜計	円	円	円	円		
		県南	241,813,925	270,220,695	89.5		
		中央	482,208,113	491,801,882	98.0		
		県北	647,474,505	672,496,239	96.3		
	小計	1,371,496,543	1,434,518,816	95.6			
	支所計	円	円	円	円		
県南		552,773,771	2,113,079,594	26.2			
中央		982,670,596	1,830,560,477	53.7			
県北		1,053,118,943	2,145,224,244	49.1			
合計	2,588,563,310	6,088,864,315	42.5				

(11) 業務関係

ア 重要な処理事項

年月日	処理事項
5 4.04	新規採用職員研修会（テレビ会議）（6日まで）
5 4.13	北海道・東北地区参事会議（本県）
5 4.14	全国連との収入保険に関する意見交換会
5 4.17	定時（決算）監査（5月16日まで）
5 4.19	農水省主催園芸施設共済事務取扱要領改正に係る説明会（テレビ会議）
5 4.19	農作物・畑作物共済担当課長及び担当者会議（テレビ会議）
5 4.20	全国連主催収入保険加入推進テレビ会議
5 4.20	宮城県農政部長へ農業保険助成要請
5 4.21	第1回広報委員会（テレビ会議）
5 4.21	農業共済団体監督指針改正に係る説明会（テレビ会議）
5 4.21	収入保険視察研修（NOSA I山形）
5 4.22	獣医師職員採用説明会（オンライン）
5 4.24	新規採用職員Excel基礎研修（オンライン）
5 4.25	業務会議（テレビ会議）
5 4.26	全国広報参事等会議（テレビ会議）
5 4.26	第1回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
5 4.28	給与計算事務に係る説明会（テレビ会議）
5 4.28	県北家畜診療センター見学会並びに家畜診療事業報告会（農議連）
5 5.02	家畜診療センター等所長会議
5 5.02	災害対策本部会議（新型コロナウイルス感染症）
5 5.09	農機具共済専門講習会（制度講習）（東京都）（12日まで）
5 5.10	令和5年度事務費賦課承認事前協議、団体運営状況ヒアリング（県）
5 5.11	建物農機具課長・担当者会議（テレビ会議）
5 5.12	三役会議
5 5.15	農機具共済専門講習会（機械実習 I）（茨城県）（17日まで）
5 5.16	功労者表彰候補者審査会
5 5.17	第1回理事会並びに第1回役員協議会
5 5.18	北海道・東北地区組合長会議（秋田）（19日まで）
5 5.18	事業等別（農作物共済・畑作物共済）職員研修会（テレビ会議）
5 5.18	家畜診療センター等所長会議
5 5.19	果樹共済・園芸施設共済担当課長担当者会議（テレビ会議）
5 5.22	第1回監事会並びに決算監査調書整理
5 5.22	職員採用試験（一般職随時募集）（23日まで）
5 5.23	令和6年度職員採用試験（獣医職）
5 5.23	本所損害評価会委員代表者会議
5 5.25	第1回コンプライアンス改善委員会
5 5.25	情報セキュリティ委員会
5 5.25	業務会議
5 5.26	定時（決算）監査講評（テレビ会議）
5 5.27	中央支所移転作業（大崎）
5 5.29	収入保険加入者保険料及び家畜共済共済掛金への助成要請（町村長会）
5 5.29	第1回広報技術研修会（東京都）（6月2日まで）
5 5.29	情報処理担当者会議（テレビ会議）
5 5.30	収入保険加入者保険料及び家畜共済共済掛金への助成要請（市長会）

年月日	処 理 事 項
5 6.01	宮城県農業保険推進協議会事務局連絡会
5 6.02	職員採用試験（一般職随時募集）
5 6.02	家畜診療センター等所長会議
5 6.03	中央支所移転作業（六の国）
5 6.03	獣医師職員採用説明会（日本獣医生命科学大学）
5 6.04	獣医師職員採用説明会（麻布大学）
5 6.05	中間指導者養成研修会（東京都）（9日まで）
5 6.08	全国協会・全国連第1回理事会（東京都）
5 6.10	中央支所移転作業（宮城中央）
5 6.13	第2回理事会（黒川郡大和町）
5 6.13	第17回通常総代会（黒川郡大和町）
5 6.14	損害評価会果樹共済部会（テレビ会議）
5 6.15	損害評価会農作物（水稲）共済部会（テレビ会議）
5 6.16	宮城県農業保険推進協議会総会
5 6.19	システム運用管理者養成研修会（Web技術基礎コース）（東京都）（20日まで）
5 6.19	中央支所統合に伴う大崎市長との面談
5 6.20	宮城県装削蹄師会第48回通常総会（黒川郡大衡村）
5 6.21	支所広報委員基礎研修（テレビ会議）（22日まで）
5 6.22	三役会議
5 6.22	事業等別（収入保険）職員研修会（テレビ会議）（23日まで）
5 6.23	第1回全国特定組合長・会長会議（東京都）
5 6.23	第144回全国協会通常総会・第22回全国連通常総会（東京都）
5 6.23	共通申請サービス操作説明会
5 6.26	業務会議
5 6.27	第1回管理職研修会（東京都）（30日まで）
5 6.27	全国連主催収入保険テレビ会議
5 6.29	第2回監事会
5 6.29	第3回理事会並びに第2回役員協議会
5 6.30	家畜共済事故対策協議会及び地区協議会長会議
5 7.03	第2回普及推進研修会（実践コース）（東京都）（7日まで）
5 7.05	職員採用試験（獣医職）
5 7.06	北海道・東北地区果樹共済担当者会議（テレビ会議）
5 7.06	家畜共済担当課長・班長・担当者会議（テレビ会議）
5 7.06	農機具共済損害評価研修会
5 7.07	令和6年度職員採用一次試験（大卒等）
5 7.07	農林水産省主催果樹共済研修会（テレビ会議）
5 7.10	収入保険担当者研修会（東京都）（11日まで）
5 7.10	園芸施設共済・建物共済自然災害損害評価研修会（テレビ会議）（11日まで）
5 7.12	第1回全国参事会議（東京都）
5 7.12	農林水産省主催園芸施設共済研修会（テレビ会議）
5 7.13	北海道・東北地区園芸施設共済担当者会議（本県）
5 7.14	事業等別（園芸施設共済）職員研修会（テレビ会議）
5 7.18	災害対策本部会議（新型コロナウイルス感染症）
5 7.18	建物農機具課長・班長会議
5 7.19	事業等別（総務・経理）職員研修会（テレビ会議）
5 7.20	農林水産省主催農業保険外交員研修会（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
5 7.20	家畜診療等技術体験発表会（21日まで）
5 7.24	令和6年度職員採用二次試験（大卒等）
5 7.24	全国協会主催第1回管理職養成研修会（東京都）（8月4日まで）
5 7.25	業務会議（テレビ会議）
5 7.26	第2回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
5 7.27	情報資産管理台帳等更新事務会議（テレビ会議）
5 7.28	三役会議
5 8.01	上半期自主点検（18日まで）
5 8.01	辞令交付
5 8.03	農産課長・担当国会議
5 8.04	第4回理事会
5 8.04	役員研修会
5 8.04	本所移転作業（7日まで）
5 8.06	収入保険説明会並びに加入申請受付会
5 8.07	第1回幹部職員研修会（東京都）（9日まで）
5 8.09	人事考課者研修会（10日まで）（テレビ会議）
5 8.09	全国協会主催第1回任意共済事業推進担当国会議（テレビ会議）
5 8.18	農作物共済損害評価研修会（テレビ会議）
5 8.21	全国連第3回理事会（書面議決）
5 8.22	全国協会主催インターネット申請推進担当者研修会（東京都）
5 8.23	建物共済損害評価研修会（テレビ会議）
5 8.24	第2回広報委員会（TV会議）
5 8.24	北海道・東北地区収入保険担当国会議（秋田県）（25日まで）
5 8.24	第62回全国リング研究大会宮城大会（25日まで）
5 8.24	東北地区任意共済担当国会議（山形県）（25日まで）
5 8.25	第2回コンプライアンス改善委員会
5 8.25	業務会議
5 8.28	農業共済新聞東北版東北営農技術版編集会議（テレビ会議）
5 8.28	全国協会主催建物共済損害評価技術研修会（千葉県）（9月1日まで）
5 8.29	事業等別（家畜共済）職員研修会（テレビ会議）
5 8.30	全国協会主催特定組合の運営に係る説明会（テレビ会議）
5 8.31	情報処理担当国会議（テレビ会議）
5 8.31	全国協会主催「未来へつなぐ」サポート運動全国推進会議（テレビ会議）
5 9.04	改善状況確認調査（12日まで）
5 9.06	全国協会第3回理事会・全国連第4回理事会（東京都）
5 9.06	全国協会・全国連臨時総会（東京都）
5 9.06	第2回全国組合長等会議（東京都）
5 9.07	全国連主催収入保険初任者研修会（東京都）（8日まで）
5 9.11	第5回理事会（テレビ会議）
5 9.11	第2回広報技術研修会（東京都）（15日まで）
5 9.13	東北地区建物共済広域災害損害評価相互協力支援に係る研修会（山形県）（14日まで）
5 9.19	令和6年度職員採用試験（高卒）
5 9.19	システム運用管理者養成研修会（情報セキュリティ対策実践コース）（東京都）（22日まで）
5 9.21	北海道・東北地区監査室担当国会議（本県）
5 9.21	獣医師会東北地区三学会（22日まで）
5 9.25	業務会議（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
5 9.27	畑作物共済損害評価研修会（テレビ会議）
5 10.03	上半期内部監査（19日まで）
5 10.03	第2回管理職研修会（東京都）（6日まで）
5 10.05	北海道・東北地区家畜共済協議会（北海道）（6日まで）
5 10.06	第3回広報委員会（テレビ会議）
5 10.11	第2回全国参事会議（東京都）
5 10.12	家畜診療等技術地区別発表会・研修会（秋田県）（13日まで）
5 10.16	第2回管理職養成研修会（東京都）（27日まで）
5 10.19	三役会議並びに本所・中央支所第二駐車場造成工事確認
5 10.19	令和6年度獣医師職員採用試験
5 10.20	第3回監事会
5 10.23	eMAFF地図に係る紐づけ説明会（テレビ会議）
5 10.23	家畜診療センター等所長会議
5 10.24	第3回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
5 10.25	業務会議
5 10.26	収入保険課長及び担当者会議（テレビ会議）
5 10.30	第2回幹部職員研修会（東京都）（11月1日まで）
5 10.30	任意共済全国研修会（東京都）
5 10.31	第6回理事会
5 11.01	青色申告個別相談会（29日まで）
5 11.02	農業簿記研修会（テレビ会議）
5 11.02	農機具共済年次更新システム操作研修会
5 11.06	定時（中間）監査（22日まで）
5 11.09	全国協会第7回理事会並びに全国連第8回理事会（東京都）
5 11.09	建物共済年次更新システム操作研修会（テレビ会議）
5 11.13	全国連主催収入保険テレビ会議
5 11.15	総務（給与）担当者研修会（テレビ会議）
5 11.17	NOSA I 宮城職員大会（テレビ会議）
5 11.19	収入保険説明会及び加入申請受付会
5 11.22	第18回臨時総代会（テレビ会議）
5 11.24	全国連主催収入保険テレビ会議
5 11.27	第3回コンプライアンス改善委員会（一部テレビ会議）
5 11.27	第2回情報セキュリティ委員会（一部テレビ会議）
5 11.27	業務会議
5 11.27	本県家畜共済視察研修（NOSA I 青森）
5 11.28	「未来へつなぐ」サポート運動全国NOSA I 大会（東京都）
5 11.30	定時（中間）監査講評（テレビ会議）
5 11.30	全国連主催収入保険テレビ会議
5 11.30	損害評価会果樹共済部会（なし）（テレビ会議）
5 11.30	家畜診療センター等所長会議
5 12.04	三役会議
5 12.04	全国協会主催建物共済専門講習会（東京都）（8日まで）
5 12.05	収入保険課長会議（テレビ会議）
5 12.06	令和6年度職員採用一次試験（追加募集）
5 12.06	事業等別（果樹共済）職員研修会（テレビ会議）
5 12.07	損害評価会農作物（水稻）共済部会（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
5 12.07	損害評価会農作物（水稻）共済部会（テレビ会議）
5 12.07	本県家畜診療所視察研修（NOSA I 岩手・NOSA I 秋田）
5 12.08	第7回理事会並びに第3回役員協議会
5 12.08	農水省主催経理研修会（テレビ会議）
5 12.11	令和6年度職員採用二次試験（追加募集）
5 12.12	家畜共済に係る全国説明会（テレビ会議）
5 12.13	システム運用管理者養成研修会（Web技術・実践コース）（東京都）（15日まで）
5 12.13	建物農機具課長・担当国会議
5 12.14	総務課長会議（テレビ会議）
5 12.18	資格等級審査委員会
5 12.19	損害評価会農作物（麦）共済部会（テレビ会議）
5 12.20	家畜課長班長担当国会議（テレビ会議）
5 12.21	果樹園芸課長担当国会議（テレビ会議）
5 12.22	第4回監事会
5 12.22	第4回広報委員会（テレビ会議）
5 12.25	全国協会第7回理事会並びに全国連第9回理事会（東京都）
5 12.25	業務会議（テレビ会議）
5 12.26	農産課長担当国会議（テレビ会議）
5 12.27	情報処理担当国会議（テレビ会議）
5 12.27	eMAFF地図に係る紐づけ説明会（テレビ会議）
6 1.10	建物農機具課長・担当国会議（テレビ会議）
6 1.11	家畜診療センター等所長会議
6 1.12	青色申告説明会（17日まで）
6 1.15	第3回管理職養成研修会（東京都）（26日まで）
6 1.18	全国協会主催第2回任意共済事業推進担当国会議（テレビ会議）
6 1.19	農業共済新聞東北版及び東北営農技術版編集会議（テレビ会議）
6 1.19	家畜診療センター等事務担当国会議
6 1.23	第5回広報委員会（テレビ会議）
6 1.24	宮城県常例検査（2月2日まで）
6 1.25	収入保険支払事務研修会（テレビ会議）
6 1.26	業務会議（テレビ会議）
6 1.26	農水省主催農業保険担当者及び組合等総務・指導担当者合同会議（テレビ会議）
6 1.30	収入保険課長会議
6 1.31	第4回余裕金運用管理委員会（テレビ会議）
6 1.31	全国連主催収入保険に係るテレビ会議
6 1.31	宮城県農業保険推進協議会臨時総会
6 2.01	下半期自主点検（16日まで）
6 2.01	東北地区装蹄師会会長等会議（2日まで）
6 2.05	令和6年度職員採用面接試験（追加募集）
6 2.05	第3回普及推進研修会（実践コース）（東京都）（9日まで）
6 2.06	コンプライアンス研修（一般職）（テレビ会議）（7日まで）
6 2.06	損害評価会果樹部会（りんご）（テレビ会議）
6 2.07	建物農機具課長・担当国会議（テレビ会議）
6 2.08	北海道・東北地区参事会議（本県）
6 2.09	三役会議
6 2.13	宮城県常例検査講評（テレビ会議）

年月日	処 理 事 項
6 2.13	第5回監事会
6 2.13	第8回理事会（テレビ会議）
6 2.14	農業共済新聞全国研修集会（東京都）
6 2.14	コンプライアンス研修会（管理職）（テレビ会議）（15日まで）
6 2.14	令和6年度採用内定者懇談会（テレビ会議）
6 2.15	第3回全国参事会議（東京都）
6 2.15	全国広報委員会議（東京都）
6 2.16	全国連主催収入保険に係るテレビ会議
6 2.16	損害評価会畑作物共済部会（テレビ会議）
6 2.20	宮城県農業保険推進協議会事務局連絡会（仙台市）
6 2.20	家畜診療センター等所長会議
6 2.21	農水省主催令和6年度園芸施設共済の加入推進に係るWEB会議（テレビ会議）
6 2.21	家畜診療技術全国研修集会（東京都）（22日まで）
6 2.22	北海道・東北地区事務機械化担当者会議（テレビ会議）
6 2.22	広報担当課長及び担当者会議（テレビ会議）
6 2.22	農水省主催農作物共済・畑作物共済研修会（テレビ会議）
6 2.26	第4回コンプライアンス改善委員会（一部テレビ会議）
6 2.26	業務会議
6 2.26	全国協会主催第3回管理職研修会（東京都）（3月1日まで）
6 2.27	NOSAI懇話会（仙台市）
6 2.29	指定獣医師等連絡会議（テレビ会議）
6 3.01	三役会議
6 3.04	下半期内部監査（14日まで）
6 3.05	第8回全国協会・第10回全国連理事会
6 3.08	第9回理事会並びに第4回役員協議会（テレビ会議）
6 3.08	NOSAI情報化全国会議（テレビ会議）
6 3.08	全国連主催収入保険に係るテレビ会議
6 3.08	果樹園芸課長担当者会議（テレビ会議）
6 3.11	総務課長会議（テレビ会議）
6 3.11	第3回広報技術研修会（東京都）（15日まで）
6 3.13	宮城県農業保険推進協議会臨時総会
6 3.14	事業等別（農機具共済）職員研修会（テレビ会議）
6 3.15	総代選挙会（テレビ会議）
6 3.18	経理担当者会議（テレビ会議）
6 3.18	家畜共済新任者研修会（テレビ会議）
6 3.19	事業等別（建物共済）職員研修会（テレビ会議）
6 3.21	三役会議
6 3.22	第3回全国組合長等会議（東京都）
6 3.22	全国協会・全国連臨時総会（東京都）
6 3.25	情報処理担当者会議（テレビ会議）
6 3.26	業務会議
6 3.28	第10回理事会並びに第5回役員協議会

イ 総代会

(ア) 第17回通常総代会

(令和5年6月13日 大和町まほろばホール 大ホール)

総代会当日現在総代数	A	299 人	出席率
本人出席	B	184 人	B/A 61.5 %
代理出席		0 人	
書面出席		105 人	
出席者計	C	289 人	C/A 96.7 %

議事及び議決事項

- 1 定款の一部変更について
- 2 事業規程の一部変更について
- 3 令和4年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案の承認について
- 4 令和5年度事業計画設定の承認について
- 5 令和5年度事務費の賦課額及び賦課方法の決定について
- 6 令和5年度役員、顧問弁護士及び共済部長の報酬額の決定について
- 7 令和5年度における借入金の最高限度額、借入利率及び償還方法の決定について
- 8 令和5年度余裕金預入先金融機関の承認について
- 9 農作物共済危険段階別共済掛金率の設定について
- 10 監事監査規則の一部改正について
- 11 給与規則の一部改正について
- 12 職員退職給与規則の一部改正について
- 13 附帯決議

(イ) 第18回臨時総代会 (テレビ会議)

(令和5年11月22日 宮城県農業共済組合本所会議室及び各支所会議室)

総代会当日現在総代数	A	298 人	出席率
本人出席	B	8 人	B/A 2.7 %
代理出席		0 人	
書面出席		288 人	
出席者計	C	296 人	C/A 99.3 %

議事及び議決事項

- 1 園芸施設共済危険段階別共済掛金率の設定について
- 2 職員退職給与規則の一部改正について

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
65,628 人	64,310 人	△ 1,318 人

エ 役職員その他

(ア) 役員

理事			監事	合計
常勤	非常勤	計		
1 人	15 人	16 人	3 人	19 人

(イ) 職員

	参事	支所長	監査室	総務	収入保険	農作物	畑作物	果樹	園芸施設	家畜	建物	農機具	診療センター	研修所	計
男	1	7	1	21	21	25	10	5	8	38	21	18	19	0	195
女	0	0	0	16	4	2	1	3	6	5	5	3	10	3	58
計	1	7	1	37	25	27	11	8	14	43	26	21	29	3	253

※職員数には専門員、嘱託職員、臨時職員を含んでいません。

(職員の勤務場所別職員数)

	本所	県南支所	中央支所	県北支所	県南家畜診療センター	中央家畜診療センター	県北家畜診療センター	家畜診療研修所	計
男	32	25	62	57	5	6	8	0	195
女	9	12	6	18	2	6	2	3	58
計	41	37	68	75	7	12	10	3	253

(ウ) 総代、共済部長、損害評価会委員、損害評価員

総代	共済部長	損害評価会委員	損害評価員	家畜診療所運営委員
298 人	3,513 人	572 人	3,594 人	5 人

(損害評価会委員、損害評価員の内訳：延人数)

	水稻	麦	家畜	果樹	畑作物	蚕繭	園芸施設	任意
損害評価会委員	685 人	※ 13 人	※ 6 人	32 人	※ 14 人	3 人	※ 8 人	※ 4 人
損害評価員	3,507 人	0 人	0 人	23 人	0 人	0 人	51 人	14 人

※各部会の構成人数